

# 生活設計・マネープランゲーム 進行資料 1時間目用

【20分間での実施用】

# グループ分けをしよう

生活設計・マネープランゲームを体験する  
グループ（班）をつくってください。

# 係を決めよう

- (1) カードを引く班長
- (2) 金額を計算する計算係
- (3) マネープランシートに記入する記録係
- (4) 思い出ポイントを管理する思い出係
- (5) 模擬通貨を管理する銀行係

(5) は、模擬通貨を使用しないときはいなくても大丈夫です。

# カードは揃っていますか？

- (1) 収入カード (3枚)
- (2) 基本生活カード (3枚)
- (3) 人生の選択カード (11枚)  
(結婚) (子育て) (住居) (自動車)
- (4) イベント&アクシデントカード (17枚)
- (5) 退職金カード (3枚)
- (6) 保険カード (1枚)
- (7) 模擬通貨
- (8) 思い出ポイントカード

\* (7)、(8)は、使用しない場合は必要ありません。

# キャリアカードを選ぼう

各グループで、自分たちがなりたい仕事の「キャリアカード」を1枚決めてください。

\* キャリアカードを使用しないときはこの作業は省略してください。

まず20歳代の  
人生を体験してみましよう！

# 収入カードを引こう

「班長」が代表して、書いてある内容が分からないよう裏返した「収入カード」から、1枚だけカードを選んでください。

カードを引いたらグループのみんなに見せてあげてください。



収入カード

# 基本生活カードを引こう

「班長」が代表して、書いてある内容が分からないよう裏返した「基本生活カード」から、1枚だけカードを選んでください。

カードを引いたらグループのみんなに見せてあげてください。



基本生活カード

# 生活設計・マネープランゲーム

## カードを引いたら 生活設計シートに 記録しよう

あなたの生活設計・マネープラン

年 組 番 名前・グル

注意！  この色の欄に記入して下さい。

収入カード	基本生活カード	人生の選択 結婚	人生の選択 子育て
○をつけてください	○をつけてください	○をつけてください	○をつけてください
① ② ③	① ② ③	する しない	なし 1人 2人 3人

これから先に引くカードも同様に記録してください。

これで20歳代の  
収入と支出が決まりました。

## 収入と基本生活支出の 計算をしてみよう

「班長」が引いた「収入カード」と「基本生活カード」  
に書いてある「20歳代の年間支出」の金額を見て、「計算係」  
は20歳～29歳までの10年間の収入と支出を計算し、「記録係」  
はその結果をマネープランシートに書いてください。

**収入レベル③**

思い出ポイントが10年ごとに2つプラス

あなたが担当する仕事の特徴

- 就職するのは比較的簡単（競争率は低い）
- 特別な技術や能力は必要なく、経験や年数を重ねても、昇進・昇給などはあまりない
- 休日がたくさんあり、自分の時間をたくさん取れる
- 比較的少ない収入

年収

20歳代	3,000,000円
30歳代	4,000,000円
40歳代	5,000,000円
50歳代	6,000,000円

仕事の特徴と年収はあくまでも例です。必ずしもこのような仕事と年収が相対するとは限りません。

**基本生活カード①**

思い出ポイントが10年ごとに1つプラス

20歳代の年間支出 → 2,000,000円

30歳代以降の年間支出 → 4,000,000円  
30歳代以降の住居費 → 「住居カード」を参照

モデル月額支出

支出項目	金額
食費	80,000円
住居費	180,000円
光熱水道費	20,000円
家具家電用品費	10,000円
娯楽費	30,000円
保険料	10,000円
交通通費	60,000円
娯楽費	50,000円
その他	80,000円
税金・社会保険	40,000円

あなたが送る生活の特徴

- 持ち物は絶対にブランド品!
- 高くてもおいしいものを食べる!
- いい家に住みたい!

この支出額はあくまでもモデルです。必ずしもこのモデルに当てはまるわけではありません。

# 住居費を計算しよう

「基本生活カード」に書いてある「20歳代の住居費」の金額が皆さんのグループの住居費（家賃）になります。

計算係は20歳～29歳までの10年間の住居費を計算し、記録係はその結果をワークシートに書いてください。

基本生活カード①

思い出ポイントが  
10年ごとに1つプラス

あなたが送る生活の特徴

- ① 持ち物は絶対にブランド品!
- ② 高くてもおいしいものを食べる!
- ③ いい家に住みたい!

20歳代の住居費(借りて住む)	⇒ 2,000,000円
30歳以上の年の年間支出	⇒ 4,000,000円
30歳以上の住居費	⇒ 「住居カード」を参照

モデル月間支出	
支出項目	金額
食費	80,000円
住居費	150,000円
光熱水道費	20,000円
家具家電用品費	10,000円
被服費・物費	30,000円
保険医療費	10,000円
交通通信費	60,000円
娯楽費	50,000円
その他	50,000円
税金・社会保険	40,000円

この支出額はあくまでもモデルです。  
必ずしもこのモデルにあてはまるわけではありません。

# 思い出ポイントを数えよう

カードに書いてあるように、「収入カード」の収入レベル③を選んだグループは2ポイント、「基本生活カード」の基本生活レベル①を選んだグループは1ポイント、10年ごとに「思い出ポイント」がもらえます。記録係は20歳～29歳の「思い出ポイント」をつけてください。

**収入レベル③**

思い出ポイントが10年ごとにプラス

あなたが担当する仕事の特徴

- ① 就職するのは比較的簡単（競争率は低い）
- ② 特別な技術や能力は必要なく、経験や年数を重ねても昇進・昇給などはあまりない
- ③ 休日がたくさんあり、自分の時間をたくさん取れる
- ④ 比較的少ない収入

年取	年収
20歳代	3,000,000円
30歳代	4,000,000円
40歳代	5,000,000円
50歳代	6,000,000円

仕事の特徴と年収はあくまでも目安です。必ずしもこのように仕事と年収が一致するとは限りません。

**基本生活カード①**

思い出ポイントが10年ごとにプラス

あなたが送る生活の特徴

- ① 持ち物は絶対にブランド品!
- ② 高くてもおいしいものを食べる!
- ③ いい家に住みたい!

支出項目	金額
食費	80,000円
住居費	180,000円
光熱水・通信費	20,000円
教育費・娯楽費	10,000円
雑用費・雑費	30,000円
保険料・雑費	10,000円
交通費・雑費	60,000円
娯楽費・雑費	50,000円
その他	50,000円
収入：社会保険	40,000円

この支出額はあくまでも目安です。必ずしもこのように支出と収入が一致するとは限りません。

\* 思い出ポイントは10年ごとに加算されます

# 貯蓄額を計算しよう

これまでに計算した収入から支出の額を引いて、20歳  
～29歳までの貯蓄額を計算して、マネープランシートに  
記録してください。

\* 20歳～29歳の累積貯蓄額は、貯蓄額と同じ金額になります。

	貯蓄額	合計貯蓄額	思い出ポイント
	万円	万円	累積

続いて、

30歳で「人生の選択」を

体験しましょう。

# 「結婚カード」を引こう

「班長」が代表して、書いてある内容が分からないよう裏返した「人生の選択カード」のうちの「結婚カード」から、1枚だけカードを選んでください。

「結婚する」、「結婚しない」の2つの選択があります。カードを引いたらグループのみんなに見せてあげてください。



人生の選択カード 結婚

\* 結婚カードは30歳代の時に1度だけ引きます。

# 「子育てカード」を引こう

「結婚する」を選んだグループのみ、「班長」が代表して、書いてある内容が分からないよう裏返した「人生の選択カード」のうちの「子育てカード」から、1枚だけカードを選んでください。（カードは4種類あります）

カードを引いたらグループのみんなに見せてあげてください。



人生の選択カード 子育て

\* 子育てカードは30歳代の時に1度だけ引きます。

# 「住居」カードを引こう

「住居カード」は3種類あります。

「班長」が代表して、書いてある内容が分からないよう裏返した「住居カード」から、1枚だけカードを選んでください。

カードを引いたらグループのみんなに見せてあげてください。



人生の選択カード 住居

\* 住居カードは30歳代の時に1度だけ引きます。  
ここで決まった住居で60歳まで生活することになります。

# 「住居」を買う場合

引いたカードが「マンションを買う」、「一戸建てを買う」のグループは、住居を買うことになります。

基本生活カードの種類によって、買う住居が変わります。

- ◆基本生活カード①のグループは「豪華」マンション・一戸建て
- ◆基本生活カード②のグループは「標準」マンション・一戸建て
- ◆基本生活カード③のグループは「お手ごろ」マンション・一戸建て

それぞれの住居の特徴と金額をよく確認してください。

人生の選択カード	
一戸建てを買う	
<b>豪華一戸建て</b> 駅から近い 部屋が広い 買い物便利 購入した年から 10年ごとに 新しいインテリアが 500プラス!	<b>標準一戸建て</b> 駅から近い 部屋が広い 買い物便利 購入した年から 10年ごとに 新しいインテリアが 300プラス!
<b>お手ごろ一戸建て</b> 駅から近い 部屋は少ない 価格お手ごろ 購入した年から 10年ごとに 新しいインテリアが 200プラス!	
<b>一括で購入する場合</b>	<b>ローン(30年)で購入する場合</b>
豪華一戸建て 80,000,000円	購入時に現金 8,000,000円
標準一戸建て 40,000,000円	豪華一戸建て 毎年3,800,000円
お手ごろ一戸建て 20,000,000円	標準一戸建て 毎年1,800,000円
	お手ごろ一戸建て 毎年600,000円
その後の住居費はからない	
全額払える貯蓄があるときだけ一括で購入することができます。 現金分の貯蓄があれば、ローンで購入できます。	

# 2つの買い方 『一括』と『ローン』

家には「一括」と「ローン」の2つの買い方があります。

## 【一括払い】

1回で全額を支払わなければなりません。でも一度支払うと、あとはお金がかかりません。

## 【ローン】

利息が付いて支払い総額が多くなります。でも10年間で分割するので、1年当たりの支払額は少なくて済みます。

# 一括か、ローンかを選ぼう！

「住居カード」で「マンションを買う」「一戸建てを買う」を、それぞれ一括で買うか、ローンで買うかを選びます。ローンで買う場合は毎年の返済額のほか、「頭金」が必要です。

\* 今回は特別に、貯蓄が足りなくても一括で買えることにします！

一括で買う  
場合

人生の選択カード	
一戸建てを買う	
<b>豪華一戸建て</b> 駅から近い 部屋が広い 買い物便利 購入した年から 10年ごとに 思い出ポイントが 500プラス！	<b>標準一戸建て</b> 駅から近い 部屋が広い 買い物便利 購入した年から 10年ごとに 思い出ポイントが 500プラス！
<b>お手ごろ一戸建て</b> 駅から近い 部屋は少ない 価格お手ごろ 購入した年から 10年ごとに 思い出ポイントが 200プラス！	
<b>一括で購入する場合</b> 豪華一戸建て 80,000,000円 標準一戸建て 40,000,000円 お手ごろ一戸建て 20,000,000円 その後の住居費はかからない	<b>ローン(30年)で購入する場合</b> 購入時に頭金 8,000,000円 豪華一戸建て 毎年3,600,000円 標準一戸建て 毎年1,600,000円 お手ごろ一戸建て 毎年600,000円
<small>全額揃える貯蓄があるときだけ一括で購入することができます。 頭金分の貯蓄があれば、ローンで購入できます。</small>	

ローンで買う場合  
(頭金に注意！)

# 「借りて住む」の場合

引いたカードが「借りて住む」のグループは、基本生活カードに合わせた家賃の住居に借りて住むことになります。

基本生活カードの種類によって、借りる住居が変わります。

- ◆基本生活カード①のグループは年間家賃2,000,000円の住居
- ◆基本生活カード②のグループは年間家賃1,500,000円の住居
- ◆基本生活カード③のグループは年間家賃1,000,000円の住居



# 今回の授業では 「自動車」の選択はしません

人生の選択 自動車		
年代	買还是不買	車種 支払い方
20歳代		
30歳代	買う 買わない	
40歳代	買う 買わない	
50歳代	買う 買わない	
60歳代		

思い出ポイント			
生活	結婚 子育て	住居	自動車

自動車一括				自動車頭金		自動車ローン返済	
※選択した自動車	※選択した自動車	※選択した自動車					万円 入
	万円	万円	支払い総額				万円
※選択した自動車	※選択した自動車	※選択した自動車					

\* 自動車の欄には何も書かずに進めてください

これで30歳代の  
収支と思い出が決まりました。

収入と支出を計算しよう！

# 収入と支出を計算しよう

「収入」は、皆さんの「収入カード」の30歳代の年収を見てください。

収入レベル③

思い出ポイントが10年ごとに2つプラス

あなたが担当する仕事の特徴

- ① 就職するのは比較的簡単（競争率は低い）
- ② 特別な技術や能力は必要なく、経験や年数を重ねても、昇進・昇給などはあまりない
- ③ 休日がたくさんあり、自分の時間をたくさん取れる
- ④ 比較的少ない収入

年収

20歳代	3,000,000 円
30歳代	4,000,000 円
40歳代	5,000,000 円
50歳代	6,000,000 円

仕事の特徴と年収はあくまでも例です。  
必ずしもこのような仕事と年収が合致するとは限りません。

## 収入と支出を計算しよう

支出のうち、「基本生活支出」は皆さんの「基本生活カード」の「30歳代以降の年間支出」を見てください。

**基本生活カード①**

思い出ポイントが  
10年ごとに1つプラス

20歳代の年間支出 → 2,000,000円  
20歳代の住居費(借りて住む) → 2,000,000円

30歳代以降の年間支出 → 4,000,000円  
30歳代以降の住居費 → 「住居カードを参照」

あなたが送る生活の特徴

- 1 持ち物は絶対にブランド品!
- 2 高くてもおいしいものを食べる!
- 3 いい家に住みたい!

モデル月間支出

支出項目	金額
食費	80,000円
住居費	150,000円
光熱水道費	20,000円
家具家電用品費	10,000円
被服費	30,000円
保険医療費	10,000円
交通通信費	60,000円
娯楽交際費	50,000円
その他	50,000円
税金・社会保険	40,000円

消費支出

この支出額はあくまでもモデルです。  
必ずしもこのモデルにあてはまるわけではありません。

# 収入と支出を計算しよう

「家族の基本生活支出」は「結婚カード」と「子育てカード」の内容を見て家族構成（配偶者がいるか、子どもは何人か）を確認して、計算してください。

「配偶者の年間支出 + 「子どもの年間支出」 = 家族の基本生活支出

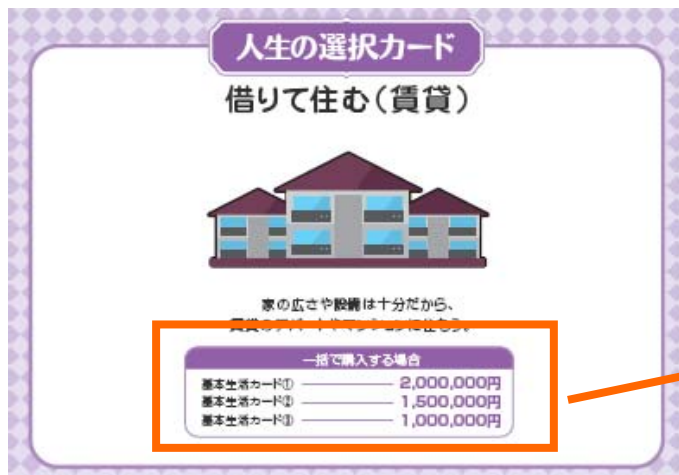
「結婚する」を選んだグループは、30歳代の時だけ  
結婚資金として300万円が必要になります



# 収入と支出を計算しよう

続いて住居費を計算します。

「借りて住む」を引いたグループは、自分の基本生活レベルに合わせた毎年の住居費（家賃）で計算してください。



住居費(家賃・ローン返済)	住居購入費(一括)	住居購入費(頭金)
※選択した住居 万円		
10年間分 万円		
※選択した住居 万円	※選択した住居	※選択した住居
10年間分 万円	万円	万円

# 収入と支出を計算しよう

「マンションを買う」・「一戸建てを買う」のうち、「ローンで買う」を選んだグループは、買った家に合わせた毎年の住居費（ローン返済額）を計算してください。なお、「ローンで買う」場合は「頭金」の金額も計算してください。

人生の選択カード

一戸建てを買う

豪華一戸建て	標準一戸建て	お手ごろ一戸建て
<p>駅に近い 部屋が多い 設備が良い 買値が安い 思い出ポイントが 5つプラス!</p>	<p>駅に近い 部屋が広い 買い物便利 思い出ポイントが 3つプラス!</p>	<p>駅に近い 部屋は少ない 価格がお手ごろ 思い出ポイントが 2つプラス!</p>
<p>一括で購入する場合</p> <p>豪華一戸建て 80,000,000円 標準一戸建て 40,000,000円 お手ごろ一戸建て 20,000,000円</p> <p>その後の住居費はかからない</p>	<p>ローン(30年)で購入する場合</p> <p>購入時に頭金 8,000,000円</p> <p>豪華一戸建て 毎年8,000,000円 標準一戸建て 毎年1,600,000円 お手ごろ一戸建て 毎年600,000円</p>	

住居費(家賃・ローン返済)	住居購入費(一括)	住居購入費(頭金)
※選択した住居	万円	
10年間分	万円	
※選択した住居	万円	※選択した住居
10年間分	万円	万円

# 収入と支出を計算しよう

「マンションを買う」「一戸建てを買う」のうち、「一括で買う」を  
選んだグループは、カードに書いてある「一括で買う」場合の金額を  
「住居購入費（一括）」の欄に書いてください。

人生の選択カード

一戸建てを買う

豪華一戸建て

駅に近い  
部屋が多い  
買い物利便  
性が高い  
思い出ポイントが  
5つプラス!

購入した年から  
10年ごとに  
思い出ポイントが  
5つプラス!

標準一戸建て

駅に近い  
部屋が広い  
買い物便利  
思い出ポイントが  
3つプラス!

購入した年から  
10年ごとに  
思い出ポイントが  
3つプラス!

お手ごろ一戸建て

駅に近い  
部屋は少ない  
価格がお手ごろ

購入した年から  
10年ごとに  
思い出ポイントが  
2つプラス!

一括で購入する場合

豪華一戸建て 80,000,000円  
 標準一戸建て 40,000,000円  
 お手ごろ一戸建て 20,000,000円

その後の住居費はかからない

全額返済の貯蓄があるときだけ一括で購入することができます。

ローン(30年)で購入する場合

購入時に現金 8,000,000円

豪華一戸建て 毎月1,800,000円  
 標準一戸建て 毎年1,600,000円  
 お手ごろ一戸建て 毎年600,000円

頭金分の貯蓄があれば、ローンで購入できます。

住居費(家賃・ローン返済)	住居購入費(一括)	住居購入費(頭金)
※選択した住居	万円	
10年間分	万円	
※選択した住居	万円	※選択した住居
10年間分	万円	万円

# 「保険」に入るか、考えよう

100万円払って「保険」に入るといろいろなアクシデント（病気や事故など）が起こったとき、支出をしなくて済むことがあります。

でも、保険を使わなくても100万円は返ってきません。  
各グループで、保険に入るか決めてください。

\* 保険は10年ごとに入るかどうかを決めます。

\* 保険の有効期間は10年間です。継続して保険に入る場合は、その都度、100万円支払います。



# 30歳代の イベント&アクシデント！

「班長」が代表して、裏返してある「イベント&アクシデントカード」から1枚引いてください。これが皆さんのグループの30歳代のイベント&アクシデントです。

カードに書いてある内容に沿って、収入や支出、思い出ポイントが増減します。収入カードの種類によって起こる内容が違うカードもありますので、よく内容を確認してください。

イベント&アクシデントカード

# 生活設計・マネープランゲーム

## 【イベント&アクシデントカードの見方】

**イベント&アクシデントカード**



**旅行**  
家族全員で旅行をしました。  
でも収入レベル①の仕事の人は、  
忙しくて時間が取れませんでした。

イベント支出		
収入レベル①	収入レベル②	収入レベル③
なし	家族1人あたりマイナス50万円	

思い出ポイント		
収入レベル①	収入レベル②	収入レベル③
マイナス2ポイント	家族の人数分のポイントをプラス	



イベント&アクシデント  
による収入・支出

イベント&アクシデントによる思い出ポイントの増減

# イベント&アクシデントを 確認しよう

「班長」が引いた「イベント&アクシデントカード」の内容に沿って、収入・支出額を「イベントカード&アクシデントカード」の欄に記入してください。一部のカードは「保険カード」を持っていると支出を避けられることもあります。

**イベント&アクシデントカード**



**旅行**

家族全員で旅行をしました。でも収入レベル①の仕事の人は、忙しくて時間が取れませんでした。

イベント支出		
収入レベル①	収入レベル②	収入レベル③
なし	家族1人あたりマイナス50万円	

思い出ポイント		
収入レベル①	収入レベル②	収入レベル③
マイナス2ポイント	家族の人数分のポイントをプラス	

保険・イベント&アクシデント			
年代	保険	内容	収支の影響 思い出ポイントの影響
20歳代	/	/	/
30歳代	入る 入らない		

イベントカード

万円

# 思い出ポイントを 確認しよう

「思い出係」は「収入カード」、「基本生活カード」、「人生の選択カード」と「イベント&アクシデントカード」に書いてある内容に沿って、30歳代で獲得できる「思い出ポイント」を計算してください。

記載例

思い出ポイント						
年代	収入	基本生活	結婚 子育て	住居	自動車	イベント アクシデント
20歳代	0	1	/	/	/	/
30歳代	0	1	7	2	1	0
40歳代	0	1	7	2	1	3
50歳代						
60歳代	/	/	/	/	/	/

# 貯蓄額と思い出ポイントを 計算しよう

ここまでの収入と支出を計算して、30歳～39歳の貯蓄額と思い出ポイントを出してください。

30歳～39歳までの貯蓄額と思い出ポイントが計算できたら、20歳～29歳までの合計貯蓄額と思い出ポイントに加えて、合計貯蓄額と累計思い出ポイントを計算して、記録してください。

\*もしかしたら、合計貯蓄額がマイナスになるかもしれませんが、今回は特別にそのまま進めることにします。

貯蓄額	合計貯蓄額	思い出ポイント
万円	万円	累積
万円	万円	累積

続いて40歳代の

人生を体験して

収入と支出、思い出ポイント

を計算しよう！

# 収入と支出を計算しよう

「収入」は、皆さんの「収入カード」の40歳代の年収を見てください。

収入レベル③

思い出ポイントが10年ごとに2つプラス

あなたが担当する仕事の特徴

- ① 就職するのは比較的簡単（競争率は低い）
- ② 特別な技術や能力は必要なく、経験や年数を重ねても、昇進・昇給などはあまりない
- ③ 休日がたくさんあり、自分の時間をたくさん取れる
- ④ 比較的少ない収入

年収

20歳代	3,000,000 円
30歳代	4,000,000 円
40歳代	5,000,000 円
50歳代	6,000,000 円

仕事の特徴と年収はあくまでも例です。  
必ずしもこのような仕事と年収が合致するとは限りません。

## 収入と支出を計算しよう

支出のうち、「基本生活支出」は皆さんの「基本生活カード」の「30歳代以降の年間支出」を見てください。

**基本生活カード①**

思い出ポイントが  
10年ごとに1つプラス

20歳代の年間支出 → 2,000,000円  
20歳代の住居費(借りて住む) → 2,000,000円

30歳代以降の年間支出 → 4,000,000円  
30歳代以降の住居費 → 「住居カードを参照」

あなたが送る生活の特徴

- 1 持ち物は絶対にブランド品!
- 2 高くてもおいしいものを食べる!
- 3 いい家に住みたい!

モデル月間支出

支出項目	金額
食費	80,000円
住居費	150,000円
光熱水道費	20,000円
家具家電用品費	10,000円
被服費	30,000円
保険医療費	10,000円
交通通信費	60,000円
娯楽交際費	50,000円
その他	50,000円
税金・社会保険	40,000円

この支出額はあくまでもモデルです。  
必ずしもこのモデルにあてはまるわけではありません。

## 収入と支出を計算しよう

「家族の基本生活支出」は「結婚カード」と「子育てカード」の内容を見て家族構成（配偶者がいるか、子どもは何人か）を確認して、計算してください。金額は30歳代と同じ金額になります。

人生の選択カード

結婚する

思い出ポイントが  
10年ごとに3つプラス



大人になったら、素敵な人と出会って、  
一緒に暮らすパートナーとして結婚したいな。

結婚資金 3,000,000円 の支出  
(結婚披露宴、新婚旅行、新居の準備など)

毎年の年間支出 +1,000,000円  
(配偶者の生活費など)

人生の選択カード

子どもは3人

思い出ポイントが  
10年ごとに6つプラス



家の中はとってもにぎやか。明るく、楽しい家庭になるといいな。

毎年の年間支出 +2,400,000円  
(子どもの生活費・教育費など)

# 収入と支出を計算しよう

続いて住居費を計算します。

「借りて住む」を引いたグループは、自分の基本生活レベルに合わせた毎年の住居費（家賃）で計算してください。



住居費(家賃・ローン返済)	住居購入費(一括)	住居購入費(頭金)
※選択した住居 万円		
10年間分 万円		
※選択した住居 万円	※選択した住居	※選択した住居
10年間分 万円	万円	万円

# 収入と支出を計算しよう

「マンションを買う」・「一戸建てを買う」のうち、「ローンで買う」を選んだグループは、買った家に合わせた毎年の住居費（ローン返済額）を計算してください。なお、「頭金」はすでに30歳の段階で支払っているので必要ありません。

人生の選択カード  
一戸建てを買う

豪華一戸建て	標準一戸建て	お手ごろ一戸建て
<ul style="list-style-type: none"> <li>駅に近い</li> <li>部屋が多い</li> <li>買値が高い</li> <li>買い物便利</li> <li>庭が広い</li> <li>おしゆり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>駅に近い</li> <li>部屋が広い</li> <li>買い物便利</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>駅が近い</li> <li>部屋は少ない</li> <li>価格お手ごろ</li> </ul>
購入した年から10年ごとに思い出ポイントが5コプラス!	購入した年から10年ごとに思い出ポイントが3コプラス!	購入した年から10年ごとに思い出ポイントが2コプラス!
<p>一括で購入する場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>豪華一戸建て 80,000,000円</li> <li>標準一戸建て 40,000,000円</li> <li>お手ごろ一戸建て 20,000,000円</li> </ul> <p>その後の住居費はからない</p>	<p>ローン(30年)で購入する場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>購入時に頭金 8,000,000円</li> <li>豪華一戸建て 毎年3,600,000円</li> <li>標準一戸建て 毎年1,600,000円</li> <li>お手ごろ一戸建て 毎年600,000円</li> </ul>	

全額購入の貯蓄があるときだけ一括で購入することができます。 頭金分の貯蓄があれば、ローンで購入できます。

住居費(家賃・ローン返済)	住居購入費(一括)	住居購入費(頭金)
※選択した住居	万円	
10年間分	万円	
※選択した住居	万円	※選択した住居
10年間分	万円	万円

# 収入と支出を計算しよう

「マンションを買う」「一戸建てを買う」のうち、「一括で買う」を選んだグループは、すでに30歳の段階で支払っているので、40歳代での支払いはありません。

人生の選択カード

一戸建てを買う

豪華一戸建て

駅に近い  
部屋が多い  
築年が古い  
買い物便利  
庭が広い  
おしほポイントが  
5つプラス!

標準一戸建て

駅に近い  
部屋が広い  
買い物便利

お手ごろ一戸建て

駅に近い  
部屋は少ない  
価格がお手ごろ

一括で購入する場合

豪華一戸建て 80,000,000円  
標準一戸建て 40,000,000円  
お手ごろ一戸建て 20,000,000円

その後の住居費はかからない

全額出せる貯蓄があるときだけ一括で購入することができます。

ローン(30年)で購入する場合

購入時に現金 8,000,000円

豪華一戸建て 毎年1,800,000円  
標準一戸建て 毎年1,600,000円  
お手ごろ一戸建て 毎年600,000円

頭金分の貯蓄があれば、ローンで購入できます。

住居費(家賃・ローン返済)	住居購入費(一括)	住居購入費(頭金)
※選択した住居	万円	
10年間分	万円	
※選択した住居	万円	※選択した住居
10年間分	万円	万円

# 「保険」に入るか、考えよう

100万円払って「保険」に入るといろいろなアクシデント（病気や事故など）が起こったとき、支出をしなくて済むことがあります。

でも、保険を使わなくても100万円は返ってきません。  
各グループで、保険に入るか決めてください。

\* 保険は10年ごとに入るかどうかを決めます。

\* 保険の有効期間は10年間です。継続して保険に入る場合は、その都度、100万円支払います。



# 40歳代の イベント&アクシデント！

「班長」が代表して、裏返してある「イベント&アクシデントカード」から1枚引いてください。これが皆さんのグループの40歳代のイベント&アクシデントです。

カードに書いてある内容に沿って、収入や支出、思い出ポイントが増減します。収入カードの種類によって起こる内容が違うカードもありますので、よく内容を確認してください。

イベント&アクシデントカード

# イベント&アクシデントを 確認しよう

「班長」が引いた「イベント&アクシデントカード」の内容に沿って、収入・支出額を「イベントカード&アクシデントカード」の欄に記入してください。一部のカードは「保険カード」を持っていると支出を避けられることもあります。

**イベント&アクシデントカード**



**旅行**  
家族全員で旅行をしました。でも収入レベル①の仕事の人は、忙しくて時間が取れませんでした。

イベント支出		
収入レベル①	収入レベル②	収入レベル③
なし	家族1人あたりマイナス50万円	

思い出ポイント		
収入レベル①	収入レベル②	収入レベル③
マイナス2ポイント	家族の人数分のポイントをプラス	

保険・イベント&アクシデント			
年代	保険	内容	収支の影響
			思い出ポイントの影響
20歳代	/	/	/
30歳代	入る 入らない		

イベントカード

万円

# 思い出ポイントを 確認しよう

「思い出係」は「収入カード」、「基本生活カード」、「人生の選択カード」と「イベント&アクシデントカード」に書いてある内容に沿って、40歳代で獲得できる「思い出ポイント」を計算してください。

記載例

思い出ポイント						
年代	収入	基本生活	結婚 子育て	住居	自動車	イベント アクシデント
20歳代	0	1	/	/	/	/
30歳代	0	1	7	2	1	0
40歳代	0	1	7	2	1	3
50歳代						
60歳代	/	/	/	/	/	/

# 貯蓄額と思い出ポイントを 計算しよう

ここまでの収入と支出を計算して、40歳～49歳の貯蓄額と思い出ポイントを出してください。

40歳～49歳までの貯蓄額と思い出ポイントが計算できたら、30歳～39歳までの合計貯蓄額と思い出ポイントに加えて、合計貯蓄額と累計思い出ポイントを計算して、記録してください。

\* もしかしたら、合計貯蓄額がマイナスになるかもしれませんが、今回は特別にそのまま進めることにします。

貯蓄額	合計貯蓄額	思い出ポイント
万円	万円	累積
万円	万円	累積

続いて50歳代の

人生を体験して

収入と支出、思い出ポイント

を計算しよう！

# 収入と支出を計算しよう

「収入」は、皆さんの「収入カード」の50歳代の年収を見てください。

収入レベル③

思い出ポイントが10年ごとに2つプラス

あなたが担当する仕事の特徴

- ① 就職するのは比較的簡単（競争率は低い）
- ② 特別な技術や能力は必要なく、経験や年数を重ねても、昇進・昇給などはあまりない
- ③ 休日がたくさんあり、自分の時間をたくさん取れる
- ④ 比較的少ない収入

年収

20歳代	3,000,000 円
30歳代	4,000,000 円
40歳代	5,000,000 円
50歳代	6,000,000 円

仕事の特徴と年収はあくまでも例です。必ずしもこのような仕事と年収が合致するとは限りません。

## 収入と支出を計算しよう

支出のうち、「基本生活支出」は皆さんの「基本生活カード」の「30歳代以降の年間支出」をご覧ください。

**基本生活カード①**

思い出ポイントが  
10年ごとに1つプラス

20歳代の年間支出 → 2,000,000円  
20歳代の住居費(借りて住む) → 2,000,000円

30歳代以降の年間支出 → 4,000,000円  
30歳代以降の住居費 → 「住居カードを参照」

あなたが送る生活の特徴

- 1 持ち物は絶対にブランド品!
- 2 高くてもおいしいものを食べる!
- 3 いい家に住みたい!

モデル月間支出

支出項目	金額
食費	80,000円
住居費	150,000円
光熱水道費	20,000円
家具家電用品費	10,000円
被服費	30,000円
保険医療費	10,000円
交通通信費	60,000円
娯楽交際費	50,000円
その他	50,000円
税金・社会保険	40,000円

消費支出

この支出額はあくまでもモデルです。  
必ずしもこのモデルにあてはまるわけではありません。

# 収入と支出を計算しよう

「家族の基本生活支出」は「結婚カード」と「子育てカード」の内容を見て家族構成（配偶者がいるか、子どもは何人か）を確認して、計算してください。金額は30歳代と同じ金額になります。

人生の選択カード

結婚する

思い出ポイントが  
10年ごとに3つプラス



大人になったら、素敵な人と出会って、  
一緒に暮らすパートナーとして結婚したいな。

結婚資金 3,000,000円 の支出  
(結婚披露宴、新婚旅行、新居の準備など)

毎年の年間支出 +1,000,000円  
(配偶者の生活費など)

人生の選択カード

子どもは3人

思い出ポイントが  
10年ごとに6つプラス



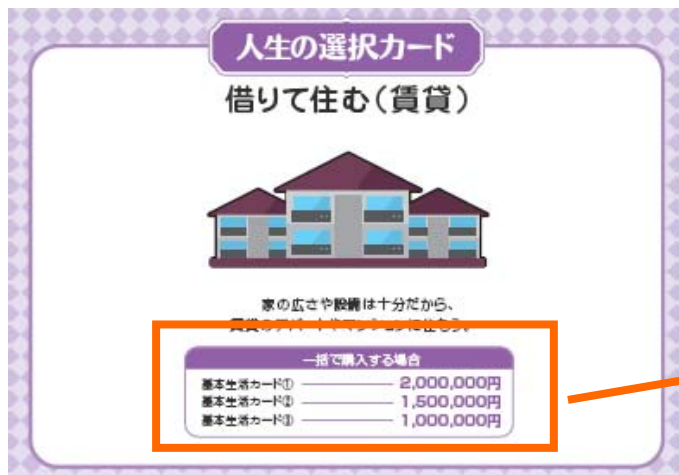
家の中はとってもにぎやか。明るく、楽しい家庭になるといいな。

毎年の年間支出 +2,400,000円  
(子どもの生活費・教育費など)

# 収入と支出を計算しよう

続いて住居費を計算します。

「借りて住む」を引いたグループは、自分の基本生活レベルに合わせた毎年の住居費（家賃）で計算してください。



住居費(家賃・ローン返済)	住居購入費(一括)	住居購入費(頭金)
※選択した住居 万円		
10年間分 万円		
※選択した住居 万円	※選択した住居	※選択した住居
10年間分 万円	万円	万円

# 収入と支出を計算しよう

「マンションを買う」・「一戸建てを買う」のうち、「ローンで買う」を選んだグループは、買った家に合わせた毎年の住居費（ローン返済額）を計算してください。なお、「頭金」はすでに30歳の段階で支払っているので必要ありません。

人生の選択カード

一戸建てを買う

豪華一戸建て

駅に近い  
部屋が多い  
築年が短い  
買い物便利  
庭が広い  
おしゆけ  
5コプラス!

標準一戸建て

駅に近い  
部屋が広い  
買い物便利

お手ごろ一戸建て

駅が近い  
築年が短い  
価格お手ごろ

一括で購入する場合

豪華一戸建て 80,000,000円  
標準一戸建て 40,000,000円  
お手ごろ一戸建て 20,000,000円

その後の住居費はからない

ローン(30年)で購入する場合

購入時に頭金 8,000,000円

豪華一戸建て 毎年3,600,000円  
標準一戸建て 毎年1,600,000円  
お手ごろ一戸建て 毎年600,000円

全額購入の貯蓄があるときだけ一括で購入することができます。 頭金分の貯蓄があれば、ローンで購入できます。

住居費(家賃・ローン返済)	住居購入費(一括)	住居購入費(頭金)
※選択した住居	万円	
10年間分	万円	
※選択した住居	万円	※選択した住居
10年間分	万円	万円

# 収入と支出を計算しよう

「マンションを買う」「一戸建てを買う」のうち、「一括で買う」を  
選んだグループは、すでに30歳の段階で支払っているので、50歳代  
での支払いはありません。

人生の選択カード

一戸建てを買う

豪華一戸建て

駅に近い  
部屋が多い  
買い物に  
利便性が  
高い

購入した年から  
10年ごとに  
思い出ポイントが  
5つプラス!

標準一戸建て

駅に近い  
部屋が広い  
買い物便利

購入した年から  
10年ごとに  
思い出ポイントが  
3つプラス!

お手ごろ一戸建て

駅に近い  
部屋は少ない  
価格がお手ごろ

購入した年から  
10年ごとに  
思い出ポイントが  
2つプラス!

一括で購入する場合

豪華一戸建て 80,000,000円  
 標準一戸建て 40,000,000円  
 お手ごろ一戸建て 20,000,000円

その後の住居費はかからない

全額出せる貯蓄があるときだけ一括で購入することができます。

ローン(30年)で購入する場合

購入時に頭金 8,000,000円

豪華一戸建て 毎年1,800,000円  
 標準一戸建て 毎年1,600,000円  
 お手ごろ一戸建て 毎年600,000円

頭金分の貯蓄があれば、ローンで購入できます。

住居費(家賃・ローン返済)	住居購入費(一括)	住居購入費(頭金)
※選択した住居	万円	
10年間分	万円	
※選択した住居	万円	※選択した住居
10年間分	万円	万円

# 「保険」に入るか、考えよう

100万円払って「保険」に入るといろいろなアクシデント（病気や事故など）が起こったとき、支出をしなくて済むことがあります。

でも、保険を使わなくても100万円は返ってきません。  
各グループで、保険に入るか決めてください。

\* 保険は10年ごとに入るかどうかを決めます。

\* 保険の有効期間は10年間です。継続して保険に入る場合は、その都度、100万円支払います。



# 50歳代の イベント&アクシデント！

「班長」が代表して、裏返してある「イベント&アクシデントカード」から1枚引いてください。これが皆さんのグループの50歳代のイベント&アクシデントです。

カードに書いてある内容に沿って、収入や支出、思い出ポイントが増減します。収入カードの種類によって起こる内容が違うカードもありますので、よく内容を確認してください。

イベント&アクシデントカード

# イベント&アクシデントを 確認しよう

「班長」が引いた「イベント&アクシデントカード」の内容に沿って、収入・支出額を「イベントカード&アクシデントカード」の欄に記入してください。一部のカードは「保険カード」を持っていると支出を避けられることもあります。

イベント&アクシデントカード



**旅行**

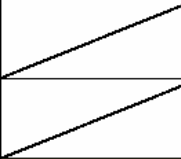
家族全員で旅行をしました。  
でも収入レベル①の仕事の人は、  
忙しくて時間が取れませんでした。

イベント支出		
収入レベル①	収入レベル②	収入レベル③
なし	家族1人あたりマイナス50万円	

思い出ポイント		
収入レベル①	収入レベル②	収入レベル③
マイナス2ポイント	家族の人数分のポイントをプラス	

保険・イベント&アクシデント			
年代	保険	内容	収支の影響 思い出ポイントの影響
20歳代	/	/	/
30歳代	入る 入らない		

イベントカード



※選択したカード

万円

# 思い出ポイントを 確認しよう

「思い出係」は「収入カード」、「基本生活カード」、「人生の選択カード」と「イベント&アクシデントカード」に書いてある内容に沿って、50歳代で獲得できる「思い出ポイント」を計算してください。

記載例

思い出ポイント						
年代	収入	基本生活	結婚 子育て	住居	自動車	イベント アクシデント
20歳代	0	1	/	/	/	/
30歳代	0	1	7	2	1	0
40歳代	0	1	7	2	1	3
50歳代	0	1	7	2	1	2
60歳代	/	/	/	/	/	/

# 貯蓄額と思い出ポイントを 計算しよう

ここまでの収入と支出を計算して、50歳～59歳の貯蓄額と思い出ポイントを出してください。

50歳～59歳までの貯蓄額と思い出ポイントが計算できたら、40歳～49歳までの合計貯蓄額と思い出ポイントに加えて、合計貯蓄額と累計思い出ポイントを計算して、記録してください。

\* もしかしたら、合計貯蓄額がマイナスになるかもしれませんが、今回は特別にそのまま進めることにします。

貯蓄額	合計貯蓄額	思い出ポイント
万円	万円	累積
万円	万円	累積

59歳までの人生が

体験できました。

60歳で退職を迎えます。

# 退職金を決めよう

「班長」が代表して、書いてある内容が分からないよう裏返した「退職金カード」（3種類）から、1枚だけカードを引いてください。

カードには「退職金なし」、「退職金あり（50歳代の年収1年分）」、「退職金あり（50歳代の年収2年分）」のいずれかが書いてあります。カードの指示に沿って、退職金額を計算し、記録してください。



		退職金	
60歳	50歳代の時の年収	万円	万円
	支給年数	年分	

\* 残念ながら、クリエイター、プロスポーツ選手、タレント・俳優・歌手、農業・漁業・林業、フリーターを選んだグループは退職金をもらうことができません。

# 結果をまとめてみよう①

退職金の金額が決まったことで、60歳までの人生が体験できましたので、結果をまとめます。

- ① 60歳の段階での合計貯蓄額
  - ② 60歳の段階での累計思い出ポイント
- を書いてください。

合計貯蓄額	万円	思い出ポイント	個
-------	----	---------	---

# 結果を考えるポイント

- ① 思い出ポイントがたくさん貯まる、思い出の詰まった人生になったかな？
- ② 結婚や子どもの人数、家は自分の思い描いていたような選択になったかな？
- ③ 60歳になるまでの、途中の年代で累積貯蓄額がマイナスになったりしなかったかな？
- ④ 60歳の段階できちんと貯蓄ができたかな？

## 結果をまとめてみよう②

体験した人生を振り返ってみて、どのような人生だったかをグループで話し合い、よかった点、悪かった点など、反省点を書いてみてください。

合計貯蓄額	万円	思い出ポイント	個	60歳以降の住居
あなたが体験した人生の感想を書きましょう				